

第 13 回 四條畷市地域公共交通会議 会議録

日 時	令和 4 年 12 月 20 日（火） 14：00～15：00
場 所	四條畷市役所本館 3 階委員会室
出席者	井上会長、宮本委員、三田委員、竹本委員、西川委員、酒井委員、中西委員、中谷委員、原委員、阪上委員、池田委員、勝島委員、菅井委員、大塚委員、木邨委員、花岡委員、西野委員
事務局	亀澤都市整備部長、足立都市政策課長、川崎主任、三宅係員、永野係員
欠席者	西尾委員、松石委員、猿屋委員、扇谷委員、林委員、佐々木委員、丹治委員、畑中委員、加藤委員、神本委員、森本委員、北田委員、山根木委員
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) コミュニティバスの次期事業者の決定について</p> <p style="padding-left: 2em;">(2) デマンドタクシーの今後の方向性について</p> <p style="padding-left: 2em;">(3) 田原地域における取組みについて</p> <p style="padding-left: 2em;">(4) その他</p> <p>3 閉会</p>
資 料	<p>次第</p> <p>資料 1 コミュニティバスの次期事業者の決定について</p> <p>資料 2 デマンドタクシーの今後の方向性について</p> <p>資料 3 田原地域における取組について</p> <p>その他資料 四條畷市地域公共交通会議委員名簿</p> <p style="padding-left: 2em;">第 13 回地域公共交通会議配席図</p>
1. 開会 事務局	<p>それでは、定刻となりましたので、第 13 回四條畷市地域公共交通会議を開催させていただきます。</p> <p>皆様方には、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。早速ではございますが、次第にもとづき、始めさせていただきます。</p> <p>まず、本会議の出席状況について報告させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四條畷市総合政策部長 西尾 委員 ・ 奈良交通株式会社乗合事業部経営路線グループ統括課長 松石 委員 ・ 四條畷市下田原区区长 扇谷 委員 ・ 四條畷市雁屋町会会長 猿屋 委員 ・ 四條畷市岡山自治会会長 林 委員 ・ 四條畷市岡部小学校 P T A 佐々木 委員 ・ 四條畷市四條畷小学校 P T A 丹治 委員 ・ 京阪バス労働組合副委員長 畑中 委員 ・ 大阪国道事務所北大阪維持出張所長 加藤 委員

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・四條畷市教育委員会教育部スポーツ・文化財振興課長 神本 委員 ・四條畷市財務部財政課長 森本 委員 ・四條畷市総務部施設再編課長 北田 委員 ・四條畷市都市整備部危機管理課 山根木 委員 <p>におかれましては、欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>本会議の委員総数 30 名、そのうち現在ご出席いただいている委員は 17 名でございます。</p> <p>したがいまして、四條畷市地域公共交通会議規則、第 3 条第 2 項の規定に基づき、委員の過半数以上のご出席をいただいておりますので、会議が成立することをご報告いたします。</p> <p>また、前回の会議から、異動等で変わられた委員の方がいらっしゃいますので事務局の方から、委員の方を紹介させていただきます。お名前をお呼びしましたら、恐れ入りますが、その場でご起立後、ご着席をお願いいたします。なお、お変わりのない委員の紹介につきましては、席に配らせていただいております委員名簿にて代えさせていただきます。</p> <p>お配りしている名簿の順に読み上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄バス株式会社 営業部 乗合営業課長 宮本委員 ・京阪バス株式会社 経営企画課長 三田委員 ・奈良交通労働組合 副委員長 中谷委員 <p>本日ご欠席でございますが、・京阪バス労働組合 副委員長 畑中委員以上でございます。</p> <p>次に、行政側職員を私の方から紹介いたします。</p> <p>都市整備部長の亀澤です。</p> <p>都市整備部次長兼都市政策課長の足立です。</p> <p>都市政策課主任の川崎です。</p> <p>傍聴者受付のため、現在席にはついておりませんが、都市政策課の永野です。</p> <p>最後に私、都市整備部都市政策課の三宅です。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、これから会長に議事の進行をお願いいたしたく存じます。</p>
会長	<p>本会議の傍聴につきましては、審議会等の会議の公開に関する指針に基づく手続きにより許可することとしてよろしいですか。</p> <p>また、本会議 会議録の作成を趣旨に、会議内容を録音させていただいております。</p> <p>異議がある場合は、挙手にてお知らせください。</p> <p><異議なし></p> <p>挙手がなかったので異議なしとさせていただきます。</p> <p>それでは、傍聴者の入場、本会議の傍聴及び審議内容の録音を行わせていただきます。</p> <p><傍聴者入場></p>

会長	次に、配布資料の確認を事務局でお願いします。
事務局	<p>それでは資料を確認させていただきます。</p> <p>まず、事前に配布させていただいております資料が3つございます。</p> <p>資料1 コミュニティバス次期事業者の決定</p> <p>資料2 デマンドタクシーの今後の方向性</p> <p>資料3 自動運転車・低速電気自動車 乗車アンケート結果</p> <p>続いて、本日お手元に配布させていただいております資料といたしまして、本日の次第、本日の配席図</p> <p>四條畷市地域公共交通会議 委員名簿、すべてお揃いでしょうか。なければ挙手でお知らせください。よろしいでしょうか。</p> <p>資料の確認につきましては以上でございます。</p>
会長	<p>それでは議事に入りたいと思います。</p> <p>議題(1)コミュニティバスの次期事業者の決定について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>まず、コミュニティバス東西線 次期事業者の選定についてでございます。</p> <p>現在、本市のコミュニティバスは京阪バス株式会社様と協定を締結して運行しており、その協定の期間が令和5年3月までとなっております。</p> <p>そこで、令和5年4月から令和8年3月までの3か年で新たに協定を締結する事業者を選定するため、本年10月に複数事業者による見積合わせを実施いたしました。</p> <p>その結果、現行と同じ事業者である京阪バス株式会社様と、協定締結に向けて協議することを決定しました。</p> <p>次に、今後の検討事項についてでございます。</p> <p>前回、第12回地域公共交通会議において、ダイヤとルートの改定及び運賃体系の変更についてご承認をいただきました。これらについて、引き続き運行していただくことが決定した京阪バス株式会社様と、現在協議を行っているところでございます。</p> <p>まず、ダイヤとルートの改定についてですが、令和2年10月に改定を行いました現行のダイヤとルートに関しては大きな問題はなくご利用いただけていることから、現行のダイヤ・ルートを基本としつつ、市民意見を踏まえた微修正を行うことを、前回の会議にてご承認いただきました。</p> <p>そこで、現行のダイヤとルートに関する市民意見を参考に、4つの改定ポイントについて整理いたしました。</p> <p>まずは1つめ、現在飯盛霊園の前に停車しているバスを、中に停車してほしいというご意見。次に2つめ、土休日の最終便が田原台までの直通となっているところ、逢阪の停留所にも停車してほしいというご意見。これら2点につきましては、条件</p>

事務局	<p>によっては実現に向けて検討可能であることを、京阪バス株式会社様と確認しております。</p> <p>次に3つめ、イオンモール行きのダイヤを工夫してほしいとのご意見。4つめ、田原台から市役所行きのルートが欲しいとのご意見。これら2点につきましては、ダイヤ及びルートの影響範囲が非常に大きいため、今回の改定のなかでは検討不可と考えております。なお、市役所の一部業務につきましては田原支所においても取り扱っております。</p> <p>したがいまして、1つめの飯盛霊園の中での停車、2つめの土休日の最終便の逢阪での停車、この2点について具体的に検討のうえ、ダイヤ・ルートの改定案を作成してまいります。</p> <p>次に、運賃体系の改定についてでございますが、持続可能な公共交通とすることを主眼とした改定内容について詳細を検討のうえ、今後、本会議にお諮りし所定の手続きを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>ダイヤ・ルート、運賃体系のいずれにつきましても、令和5年度下半期の改定を目指して準備を進めてまいります。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
会長	<p>ただいまの事務局からの説明につきまして、ご質問やご意見等はございませんか。</p>
事務局	<p>事務局からですが、本日ご欠席の扇谷委員より、「地域の高校生から、田原台一丁目バス停から乗車する際、乗り切れないことがあると聞いておりますが、積み残しがあった報告は受けていますでしょうか。また積み残しがあるのであれば、それについてはどのようにお考えか。」とのご意見をいただいております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。積み残し等の事実関係ですがどうでしょうか？</p>
委員	<p>京阪バスです。田原台一丁目の積み残しということですが、2年半前にダイヤ改定をした際ですが、田原台一丁目積み残しがあったことは聞いておりますが、それ以降目立った積み残しがあったことは聞いておりません。ただ事実として積み残しが頻発しているようでしたら、今後、四條畷市さんと協議しながら検討していきたいと思いますが、今のところ、大きな影響はないと考えております。</p>
事務局	<p>京阪バスさんと同じ回答になるのですが、生活形態が変わるような、例えば長期休暇の後とか、4月の新生活がスタートする時とかに一時の一部分の車両に集中して積み残しがあることは聞いているが、それが慢性的かと言いますと、1年通じてそういう事象はおこっていないという認識でございまして、輸送力として現状でのダイヤで足りていると認識しています。</p> <p>また、これが頻発するようなことがあれば、今後ダイヤ等は検討していきたいと</p>

事務局	考えておりますが、現在のところは、問題ないと判断しております。
会長	ありがとうございました。質問頂いた回答については、今の回答でお願いしたいと思えます。ただ積み残しの後、積み残しが出ないっていうのは、もしかしたらそこでバスに乗るのを諦めて車で走っている可能性もあります。その他、いかがでしょうか？
委員	聞きたいのですが、飯盛霊園の中に停車してほしいということなのですが、今私が認識しているのも飯盛霊園の中に停車しているような感じなのですが、飯盛霊園の中というのはまた違う場所に停車するというのでしょうか？バス停が変わるということですか？
事務局	委員がおっしゃるように、一部のルートの方では、飯盛霊園の中に入っているニーズもありますが、忍ヶ丘と田原台をつなぐニーズに関して、飯盛霊園を素通りしているようなところが何点かダイヤでありますので、前を通るのであれば止めてほしいとのご意見がございましてその辺は、京阪バス様と他のダイヤに影響がないようであれば、検討の余地はあるのかなどのご意見を頂いております。寄れるようであればという感覚で、現在検討している状況です。
委員	バスのルートによって、寄らないバスの便があるから、それを寄るようにするという考え方でいいのでしょうか？
事務局	その認識で大丈夫です。
委員	ありがとうございました。
会長	その他、いかがでしょうか？ 私からになりますが、飯盛霊園ってどれくらい中に入る人の利用があるのでしょうか？
事務局	正確な人数を今把握できていないのですが、少し特殊な施設になりますので、例えばお盆の時期などでしたら増えることがありますので、一概にはお答えしづらいのですが、定期的に2人、3人降りることがあるかと言われると、そういうことはないような状況と認識しております。
会長	ありがとうございました。 前から申し上げていると思うのですが、ああして欲しい、こうして欲しいというのを無条件に聞いて、失敗することが多いので、それなりの利用が見込まれる、こういう方が利用されるとか、があれば検討可能でしょう。また、はたして利用者が

<p>会長</p>	<p>どう思いかですね。私がもし田原台から乗車して毎回飯盛霊園に寄るとなると、どうなのかな？という感じになります。</p> <p>欲しい、では、どれくらい使うのか？それを検討することになります。逢阪に止めてほしい、最終的に私は乗りますという方が、いるのであれば利用者が増えるので、私は良いと思いますが、予算内で、できる・できないよりは、こういうことを検討する前に、利用者にアンケートを取って、利用者の困りごとが何なのかを聞いた方がよいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>会長の意見はごもっともだと思います。</p> <p>当初検討にあたって、京阪バス様とお話をさせていただいている内容が、飯盛霊園の中に入ると、おっしゃる通り時間のロス等もございますのでなかなか難しいかなと思っておりますが、飯盛霊園の前の国道沿いに止めるスペースがありますので、そこに止めることが可能であれば、次の停留所の時刻も変わらずに止めることが可能ということですので、停留所を増やせるのであれば、増やしてあげたほうが乗客の利便性の向上にはつながるものかなと認識しております。</p> <p>また一度、再検討の上、最終的な判断はまた次回の交通会議でお示しさせていただければと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>市役所に行けるようにしてほしいというのは、田原支所の方でできない業務があるので、本庁に行きたいという話だと思うのですが、それがどんなことで、どれくらいの頻度なのかをお話されたほうが良いと思います。</p> <p>私自身は、自分のところの区役所にこれまで転入と結婚と出産で3回ほどしか行っておりません。でも、他の方々が例えば、障がいの申請手続き等で毎月行かなければならない等、人によって変わってくるので、その辺りは検討の余地があるかもしれません。</p> <p>その他、いかがでしょうか？</p> <p>そうしましたら、また何かありましたら戻って頂いてかまいませんので、議題の(2)に移らせていただきます。</p> <p>議題(2)デマンドタクシーの今後の方向性について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。それでは、説明させていただきます。お手元に資料2を、ご用意頂けたらと思います。デマンドタクシーの今後の方向性の資料でございます。</p> <p>まず、本市西部地区において実施しているデマンドタクシーの実証運行の過程についてご説明させていただきます。点線で囲いました左側に、実証運行の概要をお示ししております。</p> <p>実証運行は、令和2年度から現在まで継続中でございまして、予約制、定時定路線運行で、2つのルートにて実施しており、運賃はコミュニティバスと同額となっております。</p>

事務局

右側に、令和2年度及び令和3年度の実証運行結果を掲載しております。利用者の傾向といたしまして、高齢者のリピーターによる利用が非常に多いという結果となっております。予約数のうち、9割程度が65歳以上の高齢者、予約回数が多い人の上位40人程度で全体の8割を占めております。

これらの内容を前回、第12回公共交通会議にてご報告させていただき、実証運行の結果を踏まえ、庁内の福祉部局とともに、利用ニーズに特化した福祉的な施策への転換を検討することについて、ご承認をいただいたところでございます。

次に、検討状況についてでございます。これまで福祉部局とともに検討を行ってきた内容について、簡単にご説明させていただきます。

まず、デマンドタクシー利用者の特徴でございます。令和2年度及び3年度の予約回数が多い方、上位10名について、どのように利用されているかを分析いたしました。

上の表が令和2年度、下の表が令和3年度についてそれぞれまとめたものでございます。上位10人の方の年齢、予約回数、ルート、主に利用されている停留所、曜日、時間帯と利用目的についてお示ししております。

これらのデータから読み取れる特徴について、表の下に箇条書きをしております。

- ・予約回数が多い利用者はどちらかというと、四条畷ルートよりも、忍ヶ丘駅ルートに多い。
- ・年齢は、令和3年度の第5位の方を除き、全員が高齢者である。
- ・主に利用される発着点のどちらかが駅であるケースが多い。
- ・発着点のどちらが駅から遠いか高低差が大きい地域である。
- ・特定の曜日や時間帯に利用が偏っている方が多く定期的な利用をされている。
- ・利用目的は病院である方が多い。

これらの特徴から、デマンドタクシーの主な利用者像として、駅から比較的遠い地域に住んでおり、通院のため定期利用をする高齢者の方という姿が浮かんでまいります。ただしここでいう高齢者とは、自宅から停留所まで自力で歩いていくことができ、外出に他人の介助が必要ない、比較的元気な高齢者であるといえます。

続いて、2ページにお進み下さい。

次に交通や移動の手段について、制度上の種別を整理いたしました。資料の図は、今回の検討に関係のある部分のみを抜き出したものでございます。

まず大きくは有償運送と無償運送に別れまして、有償運送は使用する車両によってさらに分かれていきます。緑ナンバーの事業用車両を使うもののなかに一般旅客自動車運送というものがございまして、バスやタクシーなどに当てはまります。本市が実証運行を実施しておりますデマンドタクシーについてもこちらに該当いたします。

次に有償運送のうち白ナンバーの自家用車両を使用するものについては、自家用有償旅客運送というものがございます。これは、さらに交通空白地有償運送と福祉有償運送に別れますが、今回は福祉有償運送を検討の対象といたしました。

事務局	<p>続いて無償運送についてでございますが、こちらは許可、登録を要しない輸送というものがございます。</p> <p>ここで福祉有償運送と許可・登録を要しない輸送について、それぞれ詳しくご説明いたします。</p> <p>まず、福祉有償運送についてですが、運営主体は市や団体などさまざま、運行管理や運行業務を、バスやタクシーの事業者に委託することも可能な制度となっております。</p> <p>概要は表にお示しの通りでございますが、対象者としては、「他人の介助によらず移動することが困難であると認められ、単独でタクシーその他の公共交通機関を利用することが困難な身体障害者等の会員」となっております。また、運送区域・ルート等としては、原則、ドア・ツー・ドアの個別輸送となっており、複数人の輸送は特別なケースに限り認められる制度となっております。</p> <p>これらのことから、表の下に記載をしておりますとおり、デマンドタクシーの主な利用者像である、自力で公共交通機関の利用が可能な、比較的元気な高齢者の方につきましては、福祉有償運送の制度にマッチしていないと考えられます。</p> <p>次に、許可・登録を要しない輸送についてでございます。こちらは、市が運営主体になるケースや、団体の自主事業に市が補助を出すケースなどがございます。</p> <p>表にありますとおり、対象者や運送区域・ルート等に特段の要件はありません。対価につきましては、無償または、運送に要した燃料費・道路通行料・駐車場代の実費を受け取ることができます。基本的には、運営主体の自己資金や、団体さんが運営主体の場合は、市からの補助などで運行にかかる経費を賄っていく必要があります。</p> <p>また運転者につきましては、運行主体の職員やボランティアの方となります。</p> <p>表の下に記載しております通り、許可・登録を要しない輸送では、対象者や運送ルートに制限がないため、現在のデマンドタクシーに近い形の運行が可能な制度となっております。しかしながら、利用者から得られる対価が限定的であり、別途財源が必要である点や、ボランティアを前提とした運転手の方の安定的な確保が必要な点など課題もございます。</p> <p>続いて3ページにお進みください。</p> <p>先ほどまでの制度上の整理と、デマンドタクシーの実証運行結果から分かる利用者のニーズを踏まえまして、今後の方向性として想定される選択肢を表にお示しいたしました。</p> <p>まず、①デマンドタクシーの本格運行でございます。実証運行結果を精査し、効率的で持続可能な制度設計を改めて行い、本格運行へ移行する案でございます。こちらにつきましては、先般、事業を担っていただいているタクシー事業者様のほうから、今後の事業継続は困難であるというご意見をいただいたところでございます。また、乗合の許可を持っておられる他の事業者様におかれましても、事業を実施することは難しいと回答をいただいております。</p> <p>次に②許可・登録を要しない輸送の実施でございます。こちらは先ほど制度のご</p>
-----	---

事務局	<p>説明をさせていただいたとおり、自家用車を用いて移動支援を実施する案でございますが、対象者やルートを柔軟に設定できる一方、運転手の確保や財源面の課題はございます。</p> <p>最後に③タクシーチケットの配布でございます。これらは高齢者など限定された対象者にタクシーチケットの配布を行う案です。既存のタクシーを活用・推進できる案ですが、高齢化の進展等にもない支出額も増大する可能性があるといった課題もあります。</p> <p>表の下に記載しておりますとおり、①デマンドタクシーの本格運行につきましては、現在の利用実態と事業者様からの意見を踏まえ、公共交通の制度設計として限界がありますことから、選択肢からは除外いたします。</p> <p>本市といたしましては、②許可・登録を要しない輸送、③タクシーチケットの配布の2つの選択肢を視野に、詳細な制度設計や対象者の範囲などを慎重に検討してまいりたいと考えております。</p> <p>以上が、前回の公共交通会議後から現在までにおいて、福祉部局とともに検討を行った内容でございます。</p> <p>次に、今後の進め方でございます。</p> <p>庁内の会議体として、四條畷市地域公共交通庁内検討委員会がございまして、この検討委員会の下部組織として、四條畷市地域公共交通福祉検討部会を立ち上げ、新たな施策の詳細な制度設計を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>最後に今後のスケジュールでございます。</p> <p>表にお示しのとおり、本年12月、本日の会議終了後に庁内で四條畷市地域公共交通福祉検討部会を立ち上げる予定でございます。</p> <p>令和5年3月末までが現行のデマンドタクシーの実証運行期間となっておりますが、福祉検討部会において、新たな施策の検討及び制度設計を行うのに一定の時間を要するため、令和5年4月から9月の期間において、デマンドタクシーの実証運行期間を延長させていただきたいと考えております。このことについては、現行の運行事業者様と、協議が調っております。そして令和5年下半年からデマンドタクシーに代わる新たな施策の実施を想定しております。</p> <p>本日の会議では、デマンドタクシーの実証運行期間を令和5年9月末までの半年間延長することについて、委員皆様に承認いただきたいと考えております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それではただいまの議題につきまして、ご意見ご質問等ございましたら挙手をお願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局からですが、本日ご欠席の扇谷委員より、「西部地域で実証運行しているデマンドタクシーですが、福祉の観点から検討するのであれば、社会福祉協議会と連携を図り事業を実施するのがいいと思うがいかがでしょうか？」</p> <p>また、このあとの議題にあがっている、田原地域で実施している自動運転などの</p>

事務局	<p>取組をデマンドタクシーの代わりとして西部地域に横展開していくのはいかがでしょうか」とのご意見を頂いております。</p> <p>以上でございます。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。これにつきましてお願い致します。</p>
事務局	<p>まずデマンドタクシーの関係で、社会福祉協議会と連携することですが、こちらのほうはまだ、当然先方さんのご意向もあるとは思いますが。あと、許認可関係等の手続きとか、その辺の何が最適であるかというところをまず模索しながら検討していくものかなと思っておりますので、手法の一つとして、検討の土台にはのせたいと考えております。</p> <p>また、田原地域で行っている実証運行の方ですが、土地柄といいますか、道路環境が大きく違うこと、利用状況も内容的にはちょっと違うのかなというところもありますので、引き続き、今の実証運行の状況を見ながら、採用できるのであれば、それも検討していこうかと考えております。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございました。他、いかがでしょうか？手続き的な問題等は大丈夫でしょうか？許可の点で近畿運輸局さんいかがでしょうか？</p>
委員	<p>運輸局です。許可登録を要しない部分については、基本的にはボランティア輸送と思ってもらった方がいいです。ただ、誤解されやすいのが、利用者さんから料金を取らなければ、許可を要しないと思われがちですが、その利用者さんのお金の負担が、結局市や別のところから補填されているようであれば、当然お金を利用者さんからいただいていると思えば、本人は出してないが、違う財布からお金をもらっているということなので、基本、どこの市町でもボランティア輸送については、結局長続きはしていないのが現状であります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。何かしらを考える場合は、色々な調整が必要になります。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。今後も引き続き検討していくにあたって色々な事例等もあるかと思っておりますので、その辺もまたご指導いただければと思います。</p>
会長	<p>その他、いかがでしょうか？</p>
委員	<p>京阪バスです。まだ運行の内容が決まっていないことと思いますが、仮にこの許可登録を要しない輸送になった場合、当社のバスであるとか、あるいはタクシーと競合しますので、その辺は許可登録を要しないということであっても、公共交通会議で報告いただくとか、そういうことはぜひお願いしたいなというふうに思います。</p>

事務局	<p>前々回の会議だったと思うのですが、持続可能な公共交通は役割分担が大切だということで、お示しさせていただいたかと思います。当然、バス事業者さんに担っていただく役割であるとか、タクシー事業者さんに担っていただく役割っていうところも尊重しながら、あとは何が最適かというのを選択していきたいです。そのためには当然報告、協議はさせていただきたいと考えております。以上です</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他、いかがでしょうか？</p> <p>皆様に、ご承認いただく点がここで1点ございます。</p> <p>現在、実証運行を行っているデマンドタクシーの期間が、今年度末なのですが、それを半年延長したいというお話が出てきました。この半年の延長につきましては皆様からのご承認が必要となります。そこで皆様にデマンドタクシーの延長についてご承認いただけますでしょうか。問題ないでしょうか？</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>では令和5年4月1日から9月30日までの半年間のご承認いただきましたので、手続きの方をよろしく願いいたします。</p> <p>続いて議題の(3)です。</p> <p>田原地域における取り組みにつきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>議題(3)、田原地域における取り組みについては、田原支所の木邨委員より説明をいたします。</p>
委員	<p>田原支所です。よろしく願いいたします。</p> <p>田原地域で行いました、自動運転車低速電気自動車の実証実験のアンケート結果についてご報告いたします。まず説明に先立ちまして、本委員の皆様等につきましてはご協議、ご指導をいただきまして、本実証実験を終えることができました。深くお礼申し上げます。</p> <p>それではご説明させていただきます。1の実験目的についてですが、令和3年度に策定いたしました、自動運転基本構想実施計画（田原地域）に基づきまして、定時定路線で走行する自動運転車と、予約に応じて運行する低速電気自動車の実証実験を実施いたしました。</p> <p>実証実験では、田原地域の新たな移動支援サービスの導入に向けて、走行安全性や社会的受容性、本サービスの事業性の検証を行いました。2の実験概要につきましては、自動運転車（定時定路線）こちらにつきましては、グリーンホール田原と田原台センターの間を移動するルートとなっております。反時計回りに1時間一本走行いたしました。こちらにつきましては、グリーンホール田原と田原台センターという地域の拠点間の連携強化を図る目的で運行しました。実験車両につきましては、運転手含め4人乗りの電気自動車をベースに、名古屋大学が高精度3次元地図を用いた自律型の自動運転機能を有した車両で、「ゆっくりカート」と呼ばれております。</p>

委員

次に低速電気自動車によるデマンド交通ですが、こちらにつきましては、地域拠点のグリーンホール田原、または田原台センターへ各地区から移動するという目的で地域の街区公園等から田原台センターであるとかグリーンホール田原を結ぶルートでデマンド予約制で運行したものでございます。

実験車両につきましては、7人乗りのヤマハ発動機が開発した時速19キロ以下で、走行する低速電気自動車となっております。

実験期間につきましては、10月1日から10月30日の約1ヶ月間、自動運転のほうにつきましては、252の方がご乗車いただき、デマンド交通の方につきましては267の方がご乗車いただきました。右側の実験の様子でございますが、高齢者のお買い物であるとか、お子様など自動運転車にご乗車いただけました。低速電気自動車の方につきましては予約にて、各公園から拠点まで乗車体験していただく実証実験を行いました。また実証実験期間中の10月15日に田原小学校にてテーマを「ふれよう！ #デジタルのチカラ」としたスマートシティ推進フォーラムを開催しまして、190の方がご参加していただき、自動運転の車両等の見学をいただきました。またキッチンカーのイベントを、田原台にあります商業施設の未利用地部分でキッチンカーを1日3台呼び、10月8日、9日、22日、23日の4日間開催いたしました。1169名の方にご来場いただきました。これらのイベントを実施することで地域の理解が深まったものと考えます。

2ページ目をお願い致します。

自動運転のアンケート結果でございます。年齢層につきましては、幅広く乗っていただけたかなと思います。居住地につきましても、その他の地域というのが、実証実験の視察等でこられて、四條畷市以外の方も乗られておられます。管内では、田原台・上田原・下田原・さつきが丘と万遍なく乗車いただけたと思います。

「危険を感じたか」の質問につきましては、60%以上の方は「危険を感じなかった」と回答をいただき、その他意見が多かったのが、「道幅の狭い空間でのすれ違いなどはちょっと怖かった」というような意見をいただいております。不安な点につきましても、70%以上の方が、「ない」という意見をいただいております。

サービスの満足度、こちらにつきましては、やや満足・満足であるを合わせまして80%以上の方に満足という意見をいただいております。サービスの改善点につきましては、やはり「運行ルート上の好きな場所で乗り降りできるようにしてほしい」というご意見が多くありました。

その次に、外出頻度の増加につきましては、この移動手段を導入すると、外出頻度が上がるかという質問に対しまして、「週に二、三日程度は外出する」と36%の方から回答いただいております。利用意向につきましても、「有料でも利用したい」、「無料なら利用したい」と合わせて、この移動手段については90%以上の方から利用意向の意見をいただいております。

一部抜粋となりますが、危険と感じた場面につきましては、

- ・下り坂で急にブレーキがかかる感覚が気になった。
- ・後続車の追い越し時や合流車両との行き違いがちょっと怖かった。

委員	<p>というような意見をいただいております。</p> <p>あとサービスの改善点につきましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑い寒い問題でクーラー・暖房をつけて欲しい。 ・あと予約システムがちょっとややこしかった。 ・腰のベルトを増やして欲しい。 <p>という意見を頂いております。</p> <p>その他の意見としましては、実現されれば外出のための支援として、とても有用という意見や、田原地域の移動手段の充実により気軽に外出しやすくなるといういなというような意見もいただいております。</p> <p>続きまして3枚目の方をお願いします。</p> <p>こちらが低速電気自動車の方のアンケート結果でございます。</p> <p>こちらにつきましては、予約により拠点間を結ぶデマンドで運行しておりました。こちらの年齢層については、幅広く乗っていただけたかと思いますが、若干、高齢者の方の予約が多くなっている形になっております。居住地につきましては、高低差がある田原台8丁目、9丁目からのご乗車が多くなって、あとは満遍なく乗っていただけたのかなと思っております。</p> <p>サービスの満足度についてはこちらも90%弱の方が「やや満足」・「満足」であるというご意見をいただいております。</p> <p>サービスの改善点につきましては、同じように「運行ルート上の好きな場所で乗り降りできるようにして欲しい。」という意見をいただいております。外出頻度の増加につきましても、こちらも「週2・3日ほど、このシステムが入ると増加する」という意見をいただいております。</p> <p>利用につきましても、「有料でも利用したい」という意見が58%、「無料なら利用したい」という方が27%という結果をいただいております。</p> <p>こちらのサービスの改善点について、一部抜粋ではありますが、「冷暖房」や「暴風対策」、あと「遅い時間でも運行して欲しい」というご意見があり、その他の意見としましては「自由に色々な場所で乗降できるというのが魅力的です。」と書いていますが、現時点では停留所を各町丁目の公園で考えております。また「自動運転車と違い3列シートの広い車両となっており、こちらの方がゆったりとしていいと感じた」という意見をいただいております。</p> <p>受付で聞いたご意見ですが、「緑風台の方にも来て欲しい」とあるとか、「グリーンホール田原で受け付けできることも、チラシの方に入れて欲しい」などがあり広報が少し足りてなかったという印象を持ちました。</p> <p>以上になります。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明につきましてご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。</p> <p>田原地域の方々の声が入っていたらお願いします。</p>

委員	<p>実際に利用したのですが、予約を私は電話でしました。そしたら携帯でするよりもすごく親切にしてください、帰る時間も、コロナの注射を打ちに行くのに利用したが、それが少し早く終わりました。そしたら、予約した時間よりも少し早くしておきましたよ。と臨機応変にやって頂いたのがすごくよかったなど。地域に密着したサービスができていたと思いました。</p> <p>それとやはり、宣伝が足りてないっていうのはこの結果でもあったように、もうちょっと乗ってもらえるアピールが少なかったように思います。次回やられるときは、もう少し停留所もわかりやすくしていただいたら、何だろこれはっていうので興味を持っていただいて、利用していただけるのかなと思いました。乗っていて利用しやすいと思いました。</p>
委員	<p>ご意見ありがとうございます。広報の方につきましては、今後導入に向けてまたさらに広報を進めていきたいと思っています。また地元の方にこういう自動運転等について、ご興味をお持ちの方については、ボランティア登録もしていただいております。そちらの方に広報であるとか、あと受け付け業務であるとか、今回運転の方も手伝いいただき、そのような形で定期的に自動運転に関するミーティング等も行っておりますので、また広く周知の方をしていければと考えております。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>今後、どれくらいの利用を目指していますか。</p>
委員	<p>乗車人数っていうよりも、地域のラストワンマイルですね。公共交通に乗っていただける場所までを運んでいける、地域の足として根づいていけたらと考えております。また予約のシステム等につきましても、お住まいの皆様が使いやすいシステムになっていければと考えております。</p>
会長	<p>その他、いかがでしょうか。</p> <p>継続的にやっていくことだと思います。今のところ、複数年にわたって、次々とチャレンジされているので、常に、毎回新しいことをやっている雰囲気は田原台で広めていただければと思います。実際自動運転も大津市で始まっており、乗ってきましたが、劇的な進化はなかったのですが、少しずつ着実に進んでいると感じますので、継続していくことだと思います。必ず広報の問題が出てきますが、広報誌を読む人は大体3割おればよいと言われてます。別の町で聞いたのが、町内会に入っていて回覧版を見る率もそんなに高くない。私もそうですね。やっぱり関心のないものは何見ても反対にひっかからないです。私が例えば、防犯については見ないことがありますが、子どものことについてはよく見ます。色々なチャンネルで、さっきおっしゃったように、ボランティア登録している方が口コミで広げていくとか、ママ友ラインでこんなのあるよと広げていただくのも1つの方法です。</p>

<p>会長</p>	<p>後は、小学校経由で周知していただければ、そうすると小学生達がまた自動運転が、くるよっていうのを保護者に伝えるでしょう。ママ友ラインは、子どもが小さい時は、私は結構助かっていたのでよい情報になりました。</p> <p>あと世代によって、情報、SNSの使い方が変わってきますので、フェイスブックで発信している場合は、比較的年齢数が高い40代以上の、学生からは、おっちゃん、おばちゃんたちの社交場と言われているのですが。ただ、その世代には、きちんとはまります。</p> <p>ツイッターはもうやっている学生が減っています。見るけどそんなにはまってない。インスタは見る時に写真だけ見るので、その時におっ！と目立つような写真があると押します。</p> <p>あの手この手で、様々な世代の方たちにもお願いして、発信していくこと、田原台の方々に、映えるようなものをお願いいただければ、いいなと思います。私は、インスタはやりましたが、なかなかうまくいきませんでした。私はこんなものがあるということしかお伝えできませんが、さまざまなチャンネルを使って、「何人くらい乗られたらいいですか？」というのは、とてもいいご意見でした。これは目標としては、田原台に住んでいる人全員が1回は乗ったことがある。後は乗ったことはないけど見たことはあるということが目指されると、本格運行する時に、皆さんが受け入れていただけたらと思います。これが最も、みんなのモチベーションになっていきますので、本当に継続的なことで大変とは思いますが、参考にいただければと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか？よろしいでしょうか？継続的に宜しくお願い致します。</p> <p>最後に議題（4）その他の案件について、何かございますか。無いようですので、本日の議事につきましてはこれで終了となります。会議録等につきましては、事務局からお願い致します。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日の会議録ですが事務局にて作成のうえ、後日送付させていただきまので、委員の皆様におかれましては、内容を確認していただき、修正等がございましたらご連絡をいただきたいと存じます。修正後の会議録につきましては、本市ホームページにて公開いたしますとともに、各委員様にも送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまを持ちまして、第13回四條畷市地域公共交通会議を閉会します。ご協力ありがとうございました。</p>